

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

～原遺跡②～



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第 11 号

2024年2月21日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL: 0223-25-2302

質問受付中!

クイズ!

前回の岩沼文化財通信10号からクイズを出します。

Q. 駅家とは何だったでしょうか。



はい! お分かりですね! 答えは、A. 都から来た使者が馬を乗り継いだり休憩したりする施設。

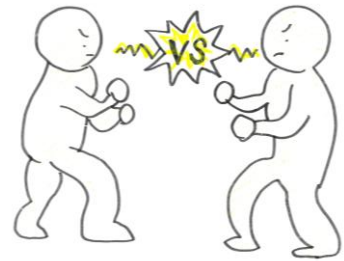
奈良時代のはじめ頃は、まだ天皇中心の政治が日本の隅々ま

で行き届いていませんでした。東北地方では、蝦夷と呼ばれる

人々との争いが起こりました。

国府(地方の政治の中心となる役所) 多賀城は蝦夷との

戦いの拠点とされ、軍隊もおかれました。



律令国家

蝦夷

たまさきのうまや 玉前駅家

阿武隈川があることや陸側と海側の道路が交わる重要地点

多賀城までの道のりに駅家が置かれました。右

の図には駅家の場所が○で示してあります。そ

して、●の所は玉前といい岩沼にあった

駅家です。多賀城で発見された木の札からは

「玉前関」という文字が見つっています。そ

の文字からここが普通の駅家ではなく、通行者

をチェックする関所の機能を持っていたこと

が分かりました。

